

ごきそ技術士会 2024 年度活動報告

名古屋工業大学ごきそ技術士会

広報 下萩憲次 技術士（電気・電子部門）

峯村剛弘 技術士（機械部門）



○ごきそ技術士会の活動について

名工大卒業生の有志で設立した当会では、講演会や見学会を企画し、会員以外も参加を募り開催している。本稿では 2024 年度の活動報告を行う。

○見学会 5/10 知の拠点あいち（豊田市）

付加価値の高いモノづくり技術開発の拠点である『知の拠点あいち』の視察のため、本技術士会並びに中部技術士会から 12 名の技術士が参加した。この地における名古屋工業大学の研究成果、重点研究プロジェクト、高度計測分析機器、あいちシンクロトン光センターを見学した。最新技術の設備などでは活発な質疑応答が交わされ、充実した見学会になった。当設備で生育している CO2 活用で栽培したトマトの味は格別で物づくりの科学の成果を味わうことが出来たことも特筆すべきことだった。



知の拠点概要説明：加藤専務理事



参加者集合写真



CO₂ 活用トマト栽培

○総会 7/6 名工大（WEB 併催）

毎年 7 月にごきそ技術士会総会を開催しており、年間事業計画や予算等を策定する。

また総会記念講演として、社会工学准教授 吉田先生より、微生物を用いた地下土壌浄化研究および、微生物活動から排出されるエネルギーを燃料電池として使用することによる、下水道のネットゼロエネルギー化について講演された。



総会での講演の様子（上）と集合写真（下）

○ごきそテクノカフェ（全 3 回）

例会として会員技術士のほか、名工大の先生へ講師を依頼し、各専門について講演会を開催している。また今年度からはリアル＆WEB 併催となった。

・第 1 回 9/28 名工大（WEB 併催）

技術士（機械）矢澤さんより、勤務先のブラザー工業での 3D プリンター導入から増設、更には 3D 造形室の運用まで発展させ、3D プリンターの活用による設計、開発の効率化までの実体験について講演をいただいた。

（紹介された参考動画について下記参照）

デザインファクトリー導入事例

<https://www.youtube.com/watch?v=omcYn3xJkbQ>



また電気・機械工学准教授 岸先生より、軽量、柔軟性で印刷技術での製造容易性に長けた、有機系熱電変換材料の研究内容と、電池レスウェアブルヘルスデバイスや IoT センサネットワークへの応用、展望について講演された。



ごきそテクノカフェの様子

・第2回 12/7 名工大 (WEB 併催)

中小企業診断士 吉田さんより、DXによる企業の付加価値生産性向上について講演された。

また生命・応用化学類 ソフトマテリアル分野教授 猪股先生より、高分子材料に求められるカーボンニュートラルに向けた取り組みについて講演された。

併せて、名工大構内に設置しているインスタントハウスのミニ見学会が行われた。



インスタントハウス ミニ見学会の様子

インスタントハウスは、社会工学科教授 北川先生が考案され、能登半島地震など被災地や紛争地域への提供、および製造方法の教示をしている。

見学会では現地で見て来られた能登被災地の状況や、支援の取り組みについての説明も伺った。

北川啓介研究室

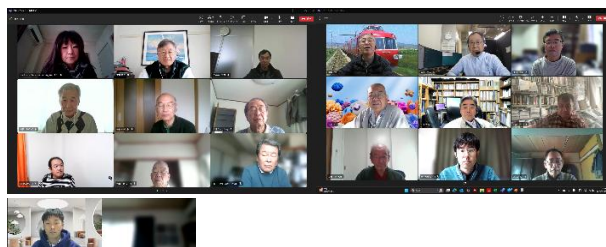
<http://instant-house.planet.bindcloud.jp/>



・第3回 2/15 WEB 開催

技術士(金属・総監)橋本さんより、名工大電気・機械工学科で講義されている、技術者倫理教育内容として、技術者倫理の重要性と、技術や経験を培う為に技術史を学ぶ大切さについて講演された。

ごきそ技術士会では名工大への講師派遣を行っており、その中で橋本さんは技術者倫理の講義を担当されている。



WEB 参加者

終わりに、本年度から例会も含めリアル開催となり、膝をつき合わせられる距離での聴講、議論が再開され、研鑽と懇親をより深く行えるようになった。またリモート併催により、参加方法が適宜選択出来ることで移動距離や時間の制約によるハードルが下がり、遠方からも連続して参加しやすい環境となっている。

今後、より活発な技術士のコミュニティとして盛り上げていきたい。



懇親会の様子

ごきそ技術士会 <https://gokiso-pe.jp/>

